

Caravan ticket

キ ャ ラ バ ン

チ ケ ッ ト

written by yu-ki



何となく 4137km

ヒッチハイクして

日本縦断

オバマも絶賛

『この本で yes we can!!』

アラスカを中心に話題騒然

caravan ticket / hitchhike story [free&crime]

free & crime

～2日目 「ホテルサイゼリア」へようこそ～



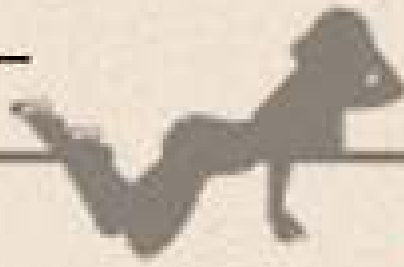
ゆ～き



VI /

news!!

「no thank you 's」 デビュー



- ・ 中澤裕子似の女の子 A
- ・ 「元気一杯」という表現を通り越して、黒光りしている女の子 B
- ・ 非常に細身でガリガリの女の子 C
- ・ ぼっちゃりという言葉では補いきれない程、たくましく成長された女の子 D
- ・ 中国三千年の歴史を感じさせる女の子 E

COMING SOON



ゆ～き『ここは、**南アフリカ**かっ！！』

ハッと、トシのツッコミ風に太陽の暑さで起きたんよね。

気がつけば、コンクリートの上でめっちゃ汗かいてたわ。

ゆ～き『あ、そっか俺は貧乏日本代表で、路上で寝てたんだ。』

昨夜、めっちゃ先人達が臭いと感じたけど、

今や自分がその匂いをまとっていき。(笑)

ゆ～き『遂に俺も**悟りの境地**に達したか・・・』

とか何とか考えつつ、ふと、ゾノを探してみると、アイツは

通学中の女子高生の**安全**を見守っていたみたいなんだよね。(笑)

とりわけ自転車で通学している女子高生はとても危険性が高いので

重点的に見守る事とする。人に対する純粋な優しさ・・・

アイツは気づかない内に俺よりさらに高みを目指していた様だ。

ゾノ『けけさんも女子高生の安全の為に力を貸してくれ！』

ゆ～き『ええよ～』

ゾノ『すまんね～』

平和と安全を愛する男である俺も見守る事にした。

時たま、風神のイタズラで女子高生のスカートがめくれてしまうが、

そんな事には俺たちはからっきし興味が無いので、

ただただ若い命の安全を祈る。

そんな純粋無垢な祈りが天に届いたのか、白やピンクの天使達が・・・

「ええよ」→「すまんねえ〜」はその頃俺たちの中で勝手にブームだった、お約束のやり取りの一つ。(笑)

「すまんねえ〜」をおばあちゃんっぽく言うのがポイント。

言葉で書くと「すうまんねえ〜」みたいなイメージなんだけど、多分伝わらないと思ったからもういいや。(笑)

一通り、風の舞を終えた俺達は朝飯を食いにいく事にしたんよね。

(俺は「女子高生安全推進委員会」に一日費やそうと提案したが(笑))

試食大国熱海を失った俺たちの戦場はもっぱらデバ地価になっててさ、厳しさは増すばかりだったんよね。

デパートは「**試食は一人一つ**」というおぞましきルールを

徹底しててさ(笑)それは俺たちにとって「とても高い壁」だったんだよね。

そう思いながら、デパートを出て道を歩いてたんだけど、

やっぱ腹超減ってるんだよね。

そんとき、偶然、道にプチトマトが生えててさ。

ゆ〜き『まだ、この命捨てる訳にはいかないってばよ。』

とか何とか、ナルトばりのリアクションをして、

バクッと道端にフソーに生えているプチトマトを食べたんよね(笑)

いやー生きる力ってすごいと思いまっしゆ。

caravan ticket / hitchhike story 『free&crime』

それが原因で後でお腹を壊し、後々トイレでゲリラ戦が始まんだけど、
とりあえずプチトマトはうまかったよね。(笑)

いつか、こんな感じで俺は雑草とかも食べ始めんのかな??

ゾノはトマト嫌いが功を奏して、このゲリラ戦からは逃れてた。

腹は満たされなかったけど、

「とりあえず食えるもんはデバ地下以外にもある」って学んでさ(笑)

安心したら、ちょい元気になって旅を進める事にしたんよ。

そして貧乏人の支え青春 18 切符を片手に電車に乗りこみ、
2人の旅は進む。

名古屋駅から大阪に向かうルートって二手に別れててさ。

”東海道本線”と”関西本線”という二つの経路があるんよね。

簡単に説明すると東海道本線は琵琶湖の下を通る感じに路線が走ってて、
関西本線は太平洋沿いを進む路線なんだよね。

んで俺達は”東海道本線”を選択したんだけどさ、

理由は「関が原」という駅があって、

「歴史的に超有名じゃーん、何があったかは知らないけど」

みたいな軽〜いノリでチョイス(笑)

あとは琵琶湖が見えるんじゃないかなってという期待もあったけどね。

電車の中では、ソノと相変わらずくだらない話をしててさ。

その時は丁度、車内に**女子5人組**がいて、

一人にモー娘の中澤裕子似の人がいたんだよね。

ゆ〜き『ソノさん！もしかすると彼女達は

名古屋で有名な”アイドルユニット” かもしれませんよ？』

ソノ『確かに、そう言われれば、オーラを感じなくも無い。事も無い。』

な〜んてくだらない話をしていると俄然盛り上がってくるのが、俺達の特徴でさ。(笑)

ソノ『ケケさん！！彼女達をヒットさせるべく、

僕らが**彼女達の芸名**をつけましょう！』

ゆ〜き『ですね。キャッチーな名前を考えましょう。』

ソノ『やはり、アイドルですから可愛らしい名前がいいですよね。』

ゆ〜き『ですね。加えて彼女達の特徴も盛り込めるとベストですね。』

※「**ですね**」は当時の俺達の**頻発する相槌**の一つ。

非常に使い易い上、文字数も少ないので効率性が良い。(笑)

caravan ticket / hitchhike story 『free&crime』

彼女達を表現すると何ともちょっとコメントしにくい感じのこう、
恐縮ですが一言で表すと「no thank you!!」って感じ女の子達で。

左から

- ・ 中澤裕子似の女の子 A
- ・ 「元気一杯」という表現を通り越して、**黒光り**している女の子 B
- ・ 非常に細身で**ガリガリ**の女の子 C
- ・ ぽっちゃりという言葉では補いきれない程、たくましく成長された女の子 D
- ・ **中国三千年の歴史**を感じさせる女の子 E

という非常にユニークなメンバだったんだよね。(笑)

そんなメンバに”**あだ名**”をつけようという話。

女性から非常に反感をくらいそうな内容なので、

女性の方々は

ここから先5ページを軽快にすっ飛ばして頂きます様

お願い申し上げます。(笑)



いざ、名づける！！

中澤裕子はそのまま「中澤裕子」で良いとして（笑）

まずは女の子 B

俺達は偉そうにちょっとプロデューサー的な感じで名前を考えたんだけど、

ソノ『やはり女性という事もあり、可愛らしい名前が良いかと』

ゆ～き『確かに、肌が黒く元気が良いという点も評価したい』

ソノ『スイーツ的な観点で” **かりんとう**” というのはどうかな??』

ゆ～き『なかなか素晴らしい案だ。女性らしさがあるね。

ただ彼女達の「若さ」というメッセージが伝わってこない。

学生の象徴である文房具である鉛筆をモチーフに

” **6B**” というのはどうかな??』

ソノ『面白い。大体使うのは HB とか B であって、

まず6B は使わないからな。 **黒すぎて**。しかし君の案からは

情熱が伝わって来ない。幽☆遊☆白書の飛影の言葉を借りるなら

” **邪王炎殺黒龍波**” という名前はどうか??』

ゆ～き『それだ。決定（笑）』

二人目は” **邪王炎殺黒龍波**” に決定。（笑）

二人ともお互いをどう笑わせるかを視点においてて、

面白い単語言って「**相手を笑わせたら勝ち**」みたいな感じで、

二人のやり合いは続いたんよね。（笑）



①中澤裕子



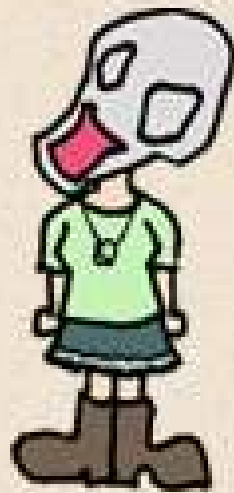
②邪王炎殺黒龍波

きっと”邪王炎殺黒龍波”は hey hey hey とかで「まっちゃん」
に突っ込まれるんだろなあとか思いながら、次の女の子！ 女の子 C。
ゆ～き『非常に彼女はスタイルが良い。スラっとしている。
まるで”もやし”みたいだ。』

ソノ『確かに、あれだけの細身はなかなか無い。
ゲゲゲの鬼太郎の”一反木綿”を彷彿とさせる。』
ゆ～き『ごもつとも。細さを強調している。

アニメつながりで”骨川スネ夫”とか。』
ソノ『なるほど。間違いなくどこかの団体からクレームが来るな。
そういえば、俺は彼女を見た瞬間、ドラクエの
「返事が無い、ただの屍のようだ」というインスピレーションを受けた。
よって”しかばね”というのはどうだろう？』

ゆ～き『アイドルに対して”しかばね”はマズイだろう。
せめてオシャレ要素を加えて”しゃれこうべ”とか。』
ソノ『それだ！正解。(笑)』



③しゅれこうべ

これで勝負は五分だった。続いて女の子D。

ゆ〜き『これは非常に難しい話だ。

既にぽっちゃりというオブラートの枠を逸脱してしまっている。』

ソノ『確かに。この子のネーミングは細心の注意を払う必要がある。』

ゆ〜き『ふくよかなイメージを可愛く変化させた

” **ビックのマックちゃん** ” とかはどうだろうか？？』

ソノ『素晴らしい。しかしもしマックがスポンサーにいたらマズイだろう。

せめて” **角煮ちゃん** ” とか』

ゆ〜き『なるほど。食欲も湧くしな。沖縄からCMの依頼が来そうだ。

食べ物だと露骨になるので、

視点を変えて伝統的な国技から” **夏場所** ” という名前は？？』

ソノ『おっ、日本の伝統名を入れるとは知的なチームに見えますなあ。

しかし、その名はオールシーズン使えないだろう。

将来的にゲーム業界進出を狙い” **エドモンド** ” とかは？』

ゆ〜き『ふむ。うーむ、なかなかしっくりきませんなあ。』

caravan ticket / hitchhike story 『free&crime』

そんなこんなで女の子Dの選考は難航したんよね。

余計なお世話って話だが。(笑)

ふと彼女を見ると足のタイツが

これでもかというくらい食い込んでいるコトを発見した。

ゆ〜き『ありゃあ、どっかで見たぞ！？』

と、俺はフラッシュバックし、思い出そうとした。

何だっけなあ・

肉系のCMだったはず・・・

んで、お歳暮のCMで・・・ あっ

ゆ〜き『そうだ、ボンレスハム！！』

ソノ『決まり！(笑)』



④ボンちゃん

最終ラウンド。

これまた選考が難航しそうな逸材なんだよね。

ソノ『これは日本の言葉じゃ、表現しきれんかもしれん。』

ゆ〜き『確かに、前代未聞ですなあ。日本語が無力。』

ソノ『臆せずに言わせて頂ければ、
彼女からは人類の進化の歴史を感じる。
それを踏まえて”ダーウィン”とか』

ゆ〜き『ステキだね。同じ観点で言えば”アウストラロピテクス”』

ソノ『趣き深い案だ。ザウルス系で考えると”ティラノ”』

ゆ〜き『ついにザウルスが出てきたか！

ただ彼女はアジア顔だろう。だもんで”土偶”』

ソノ『くっ、なるほど。ただそれは濁点が多いから呼びにくい。

それなら”ハニワ”！！』

ゆ〜き『間違いない。決定（笑）』



⑤ハニワっ娘

caravan ticket / hitchhike story 『free&crime』

ソノとの言葉選びの勝負は「五分五分」で終わったんよ。
さすが、アイツの言葉を選ぶセンスを素晴らしいと思うなあ。(笑)
そしてアイドルユニットの各メンバーの名前が決まった。
これが後に有名になる
「中澤裕子、黒龍波、しゃれこうべ、ボンレスハム、ハニワ」
誕生の瞬間である。(笑)

その頃、既に彼女達は電車を降りていたんよね。(笑)
せめて、この最高のネーミングを伝えたかった。
多分、言ったら**ブツ殺される**だろうけど。(笑)

そんな話をしているとき、気づけば**京都**に到着していたんだよね。
寺とか見るのけっこう好きだったから、
京都もめっちゃ寄りたかったけど、
沖縄に早く行きたいっつーのと、
本場大阪のたこ焼きを早く食いたかったってのがあって、
そのまま阪急京都線に乗ってさ、大阪を目指したんだよね。

電車に乗ってる間思ったのが、神奈川から電車に乗って進んできて、
どの町も変わらずに家が建っているのが、何か不思議に思った。
一つ一つの家に人が住んでて、**生活がある**。
当たり前のことだけど。
そんな哲学的考察しながら、腹はぐうぐうとなり続けていた。

京都と大阪（阪急梅田）間ってのは、けっこう近くてさ、

フツの電車でも30分ぐらいで到着するみたい。

これはちょっと意外だったなあ。

関東で言うと、新宿から横浜出るぐらいの感覚。

あとここら辺まで来ると電車内で聞こえてくる会話が関西弁になってんよね。

ゆ〜き『これが、ホンマもんの関西弁やな。』

ソノ『ホンマですわ。』

とか、エセ関西弁（笑）を強引に繰り出しながら、やっと大阪に到着。

とりあえず、”THE 観光客”として「たこ焼き」食いたくてさ。

ここまで節約してきた所持金1万円なぞ忘れ、たらふく食べたよね。（笑）

「赤鬼」だのなんだのかんだの食った。その食べる勢いは凄まじく、

『天下の台所に多大な影響力を持つ二人のイケメン（ブサメン）』

と呼ばれたり、呼ばれなかったりとか。（笑）

ふと空を見上げるともう夜になり、大阪観光もそこそこに寝床を探す。

せつかくの大阪なので、今日はちょっと贅沢して、

”ホテルサイゼリア”に宿泊する事となった。



あの頃はまだ、くいだおれ人形があった。懐かしい

caravan ticket / hitchhike story 『free&crime』

サイゼリアを知らない人に説明すると、

サイゼリアは全国でも有名なファミレスチェーン店です。

とりわけ、レベルの高いサイゼリアは **24 時間営業**してるんよね。

高校時代に俺たちは

24 時間営業ファミレスに 72 時間いるという偉業

を達成しててさ。(笑)

ひたすらファミレス内でドリンクバーを飲み続け、

持参したゲームボーイにて何時間もポケモン対戦していたという

ただの暇人達だけだね。

当時はポケモン金、銀が流行ってて、

俺のマニアックな「ヘルガー」&「ミルタンク」コンビ

が脅威を振るったり、振るわなかったりとか。

また **2 日目以降は同じ店員が来たりする為、**

目線が合うと気まずい。(笑)

ゆ〜き『あ、**昨日の夜番の女の子だ**』 みたいな (笑)

そんな経験があった為、

24 時間営業のファミレスに対して俺たちは敬意を示し

” **ホテル** ” と呼んでいる。

一部の勇者だけに与えられる” **ドリンクバー制度** ” は

数多の弱者を救ってきた制度としてあまりにも有名である。(笑)

今回もその恩恵に預かり、サイゼリアに宿泊する事にしたんよね。

早速、ドリンクバーをがぶ飲み。

ゆ〜き『やっぱりサイゼリアは落ち着きますナァ』

ソノ『ですナァ』

サイゼリアではそれぞれゆったりした時間を過ごす。

ソノは日記を書いているし、俺はスケッチブックに絵を描いててさ。

一通り、ドリンクバーを飲み、眠くなったきた為、睡眠フェーズに突入。

ソノ『そろそろ、寝ますか！』

ゆ〜き『ですね。おやすみ〜☆』

・
・
・

しかし、状況は一変する事となるんよね。

店員が何と睡眠を取っている**可愛い俺たちを起こす**ではないか！

温厚な俺もこれには憤りを感じずにはいられなかったわ。

ゆ〜き『これはどういう事だ！』

店員 A『飲食店ですので、睡眠はちょっと。。。』

ゆ〜き『そりゃあそうだ、確かに、ごもつとも』

caravan ticket / hitchhike story 『free&crime』

これは困った。対策が急務である。

ソノ『これなら、どうだ！』

ソノはそう言うとおもむろに腕を組みながら、**何かを瞑想**し始めた。

ゆ〜き『ソノ急に瞑想なんて始めて一体何を・・・こ、これは』

一瞬、**見間違える程の瞑想っぷり**（笑）であったが、

良く見れば、**眠っている**ではないか。

ゆ〜き『これならいける！』

そして**ダブル瞑想モード**に入り、二人に勝機が見えかけたが、

圧倒的な破壊力を持つ店員Bがすかさず

店員B『飲食店ですので、睡眠はちょっと。。。』

ソノ『いや、睡眠ではなく”**瞑想**”ですが』

店員B『”**瞑想**”を詳しくは存じ上げませんが、

睡眠はちょっと。。。』

ソノ『すみませんでした』

何と、凶暴な店員か。悪魔かと思ったわ。しかし諦める訳にはいかない。

なにせ、こちらはたこ焼き買い過ぎで金が無くなった為、

別のファミレスに行ける程のお金は無いのだからな。

遊びじゃねえんだ。なめんな。

そこから店員と俺達の長きに渡る戦いが始まった。

店員 C 『飲食店ですので、睡眠はちょっと。。。』

ゆ～き 『いや、睡眠ではなく”日本の未来を多角的に考察中”ですが』

店員 D 『飲食店ですので、睡眠はちょっと。。。』

ソノ 『いや、睡眠ではなく”ちょっと暗い性格”ですが』

店員 E 『飲食店ですので、睡眠はちょっと。。。』

ゆ～き 『いや、睡眠ではなく”**仮眠**”ですが』

・
・
・

店長 Y 『飲食店ですので、睡眠はちょっと。。。』

ソノ 『もう朝なので帰ります。ごちそうさまでした。(クソツタレ、愚民が)』

店長 Y 『お会計お願いしま～～す！ (本日一番良い声)』

店員 Z 『ありがとうございました～。』

ゆ～き 『ホテルサイゼリアの恥としれッ、末代まで呪われろッ』

と吐き捨てて俺たちは去っていった。(笑)

caravan ticket / hitchhike story [free&crime]

this story continues